

「本年度の小中合同授業づくり」研修開催

5月31日熊本市教育センターの武田主任主事をお呼びして研修を行いました。

また、6月7日、保小中連携の日においては、「小中一貫校の取り組みについて」「芳野スタンダード：9か年を通した教育計画」について各部会に分かれ、小中学校9か年をさらに子どもたちに力がつけられるよう効果的な教育をめざして研修しました。

年3回で実施

「保小中連携」で各園・学校の取り組みを共有し合い、子どもの連結期の不安や負担を軽くする

学期に1回以上実施

「小中一貫研修」

- ①「徳」部会
- ②「知」部会
- ③「体」部会



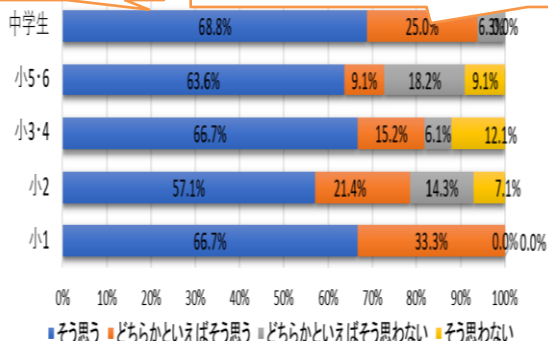
令和3年度小中合同運動会開会式より



質問 6 将来の夢や目標を持っている。

そう思う 68.8%

どちらかといえばそう思う 25.0%



左のグラフは、熊本市教育委員会によって小中一貫教育に取り組んでいる学校で、昨年11月に実施されたアンケート結果より抜粋したものです。

質問6「将来の夢や目標を持っている」という項目では、9か年の完成期である中学生（最上段のグラフ）において、市平均約74%に比べ約94%と夢に向かって自立しようとする生徒の割合が高く、各成長段階で学校・保護者・地域の連携がなされている成果が出ているように思います。

新たな取り組みへ～3月の交流風景「憧れ・憧れられる」存在として～

入学前のちょっと不安な6年生から「英語の勉強の仕方はどうするんですか？」など質問がなされました。

中学校では「毎日、復習が大切！」と実感ののべる中学生。分かりやすくプレゼンを準備して説明しました。

